

## 協議第 2 号 第 2 次黒部市地域交通網形成計画の策定について

### 1. 目指す交通計画と策定調査の必要性

- ・本市においては、北陸新幹線開業に合わせて作成した「黒部市地域公共交通網形成計画（平成 27 年度～平成 31 年度）」に基づき、路線バス・デマンドタクシーの整備・拡充を行い、市民の利便性向上に向けた取組を進めてきた。公共交通空白地の解消については、一定の成果を得られたものの、利用者数の増加や持続可能な公共交通網の実現に向け、依然として多くの課題が残っているのが現状である。さらに現在のサービス水準の維持または拡充に向けては、公共交通の担い手となるドライバーの確保などの課題が顕在化しており、官民協働によるサービス確保の更なる取組が必要である。
- ・一方で、平成 29 年度に策定した黒部市立地適正化計画では、「コンパクトかつ公共交通等ネットワークが充実したまちづくり」を基本方針に掲げており、同計画に位置付けた取組内容が高く評価され、平成 30 年 6 月に、政府から、富山県内では初の「コンパクト・プラス・ネットワーク」のモデル都市として選定されたところである。
- ・さらに、(仮称) くらべ市民交流センターが市役所跡地に整備される予定であり、都市機能の集約化に向けたまちづくりの推進に合わせ、公共交通網を再編することが重要となっている。また、新たな拠点施設として、道の駅(仮称) くらべの整備も予定されている。
- ・以上のことを踏まえ、下記の視点で公共交通の充実に向けた検討を行うため、「第 2 次黒部市地域公共交通網形成計画」を策定するものである。
  1. 公共交通網の持続に向けた利用促進
  2. 公共交通の担い手の確保と効率的な運行体系への見直し
  3. 新幹線効果の持続を図る観光地等へのアクセス環境の向上
- ・なお計画策定にあたっては、第 1 次計画での取組の評価や新幹線開業後の変化について把握し、次期への取り組みに反映するため、市民や新幹線利用者のニーズ変化について調査する必要がある。



